

## 観光・地域振興拠点等整備事業(小川町)

### 【目的】

コロナ禍において、移住の適地、気軽に訪問できる観光地として注目される中、更なる魅力向上のため、観光・地域振興の拠点を整備する。

### 【概要】

- ①道の駅おがわまち(埼玉伝統工芸会館)の魅力向上を目的とした再整備の実施設計
- ②仙覚律師碑など町内に残る歴史・伝統産業にまつわる名所の案内看板設置

### 1 道の駅おがわまち(埼玉伝統工芸会館)魅力向上再整備実施設計(5,280万円)



#### 想定する整備内容

- ・和紙に関する展示の充実
- ・飲食施設の充実
- ・農産物直売所の充実
- ・子育て支援機能の充実
- ・防災拠点機能の充実
- ・休憩機能施設等の充実

#### R6年オープン予定

- ・R4 実施設計
- ・R5 再整備工事



### 2 仙覚律師ゆかりの地等案内看板設置(334万円)

#### イメージ



説明表示用  
QRコード付

【町内20か所】  
歴史・伝統産業にまつわる名所



#### 仙覚律師碑



#### 仙覚律師

鎌倉時代の小川町で、日本で初めて『万葉集注釈』をまとめた学問僧。比企能員をはじめとする比企一族とゆかりの人物とされている。

大河ドラマを契機とした観光振興

要望額: 2,500万円(総事業費: 5,614万円) 補助率: 1/2